

代表質疑・質問

SDGs未来都市・持続可能なまちづくりを



湖南省公明党議員団 ● くわはらだ 美知子 議員

**SDGsの基盤となる経済・社会・環境の三側面における地域課題**

**問** 経済面では、進出企業の所得や市民の財産所得が市外に流出しており、製造以外の産業が弱い。社会面では地域の帰属意識や連帯感が希薄となりつつある。環境面では、地域の自然を大切にすることができません。



**デジタルに精通していない方への配慮は**

**答** 令和3年度に電子申請システムの導入を計画していることから、デジタルに精通していない方も含め、一人でも多くの方に利用していただけるよう、マイナンバーカードの普及促進、電子申請の利用方法など対応できるよ

うに検討します。

**子育てへの支援は**

**問** 子ども家庭総合センターが核となり、保健センター、園や学校、集いの広場など関係機関と連携、中学校区単位での相談体制の強化、地域の子育て支援の人材、地域での支えあいによる支援体制構築の援助を行います。

**子ども自身の自己防衛能力・危機管理能力を高める取り組みについて**

**答** 特に力を入れていきたい取り組みが、様々な状況を想定した避難訓練の実施です。実際に子どもたちが身の危険を感じた時に適切な行動がとれるような力の育成に力を注ぎます。SNS上のトラブルは近年増加傾向にあるため、湖南省スマホ使用3ヶ条を活用して指導周知を行います。

令和3年度施政方針等から質問抜粋



令和会 ● 上野 顕介 議員

**問** 新型コロナウイルス対策ワークチン接種の体制は。

**答** 国からワクチンが届いたら市内6つの医療機関で1週間あたり1750回、1つの集団接種会場で1週間あたり1350回の接種体制を予定しています。

**問** ICTを利用した行政サービスや効率化について

**答** ICTを利用して電子化を進め、スマートフォンなどからの申請にも対応するとともに、行政事務の電子化による効率化をすることで行政改革につなげます。

**問** コロナ禍による自主財源の減収は従来の見通しよりは影響が少なかつたようだが、今後の財政硬直化の見通しはどうか。

**答** 市税収入の前年対比減収は約3億6千万円と見通しよりは少な

かった。経常収支比率は近年高止まりしており、硬直化しています。

**問** 市長公約の「中学生以下の医療費無料化」が予算計上されていないことについて

**答** 当初予算で入れられなかったが、財源目途がついたときに開始できるようにしたい。今年度はまず条例改正と健康保険のシステム改修から手をつけたい。

**問** 財源目途がついたらと言いが、今年はコロナ禍影響が予想よりは少なかつたはずなのに予算計上できなかった。そのうえ、近年は財政が硬直化しているという答弁であったのに、いつどのように財源目途をつけるつもりなのか、医療費無料化はしないということか。

**答** 令和3年度途中から開始できるよう準備を進めていきます。